

令和 2 年 3 月 17 日
株式会社北國銀行
株式会社日本政策金融公庫

異業種から植物工場への新規参入を支援 ～北國銀行と日本公庫が協調融資～

株式会社北國銀行と株式会社日本政策金融公庫（略称：日本公庫）金沢支店農林水産事業は、株式会社ビルドス（所在地：石川県小松市、代表取締役：福田隆二）に対し、植物工場の整備に必要な設備資金（金額非公表）を協調融資しましたので、お知らせします。

《ポイント》

○ 高い製品開発能力を背景にグローバル・ニッチトップ企業へ

株式会社ビルドスは、小松市にて複合材料による航空機・鉄道車両などの内装材を製造しています。航空機の内装材は、安全性の観点から米連邦航空局 (FAA) による耐火性能や強度など 20 項目以上にわたる厳密な基準が設けられています。当社は世界で初めて FAA および欧州 EASA の基準をクリアした繊維強化プラスチック (FRP) の開発に成功。FRP 製の洗面カウンターがボーイング社に採用されて以来、ボーイング社のフラグシップである B-777 の 90% 以上の機体に搭載されるなど、世界的なシェアを獲得しています。

品質管理面においては、航空・宇宙・軍事における品質マネジメント JIS Q9100 を取得し、航空メーカーと直接取引可能な企業としての資格を有しています。

○ 北國銀行・日本公庫が連携してサポート

当社は高い製品開発能力を誇る一方で、業況が航空・鉄道業界の設備投資サイクルに左右されるため、新たな経営の柱として植物工場への新規参入を計画。その資金調達を地元金融機関の北國銀行と政府系金融機関の日本公庫に相談しました。

北國銀行と日本公庫は今回の投資について計画段階から情報を共有し、素材開発・製造で蓄積された品質マネジメントのノウハウが植物工場での野菜生産にも応用できること、ケータリングや弁当・惣菜など航空・鉄道業界の業販ルート開拓が見込まれることなど、既存事業とのシナジー効果を含め当社の植物工場への参入計画を積極的に評価。両金融機関が協調し、工場の改修費用や LED 照明・水耕栽培設備導入に必要な設備資金を融資することで、本計画をサポートしました。

完全密閉型の植物工場によるリーフレタスの生産は令和 2 年 5 月から開始予定、年間生産量 245 トンを見込んでいます。株式会社ビルドスの福田隆二代表取締役は、「航空・鉄道というグローバル市場で培った商倫理、商流を今後は植物工場の無農薬野菜にも適用し、世界マーケットを意識したビジネスに発展させていきたい」と抱負を語っています。

【 融資先の概要】

名 称	株式会社ビルドス
代 表 者	福田 隆二
住 所	石川県小松市金平町カ 15 (本社) 石川県小松市工業団地 2-5 (植物工場)
連 絡 先	0761-24-1411 (植物工場)
事業内容	リーフレタスの生産

工場稼働後のイメージ写真



＜お問い合わせ先＞

株式会社北國銀行 総合企画部広報 CSR 課 (担当: 佐々木)
TEL: 076-223-9705

株式会社日本政策金融公庫 金沢支店 農林水産事業 (担当: 綿貫、池田)
TEL: 076-263-6472